

議題2 令和7年度村上市地域公共交通計画の実施状況の検証及び評価(案)

1 計画の達成状況及び評価について

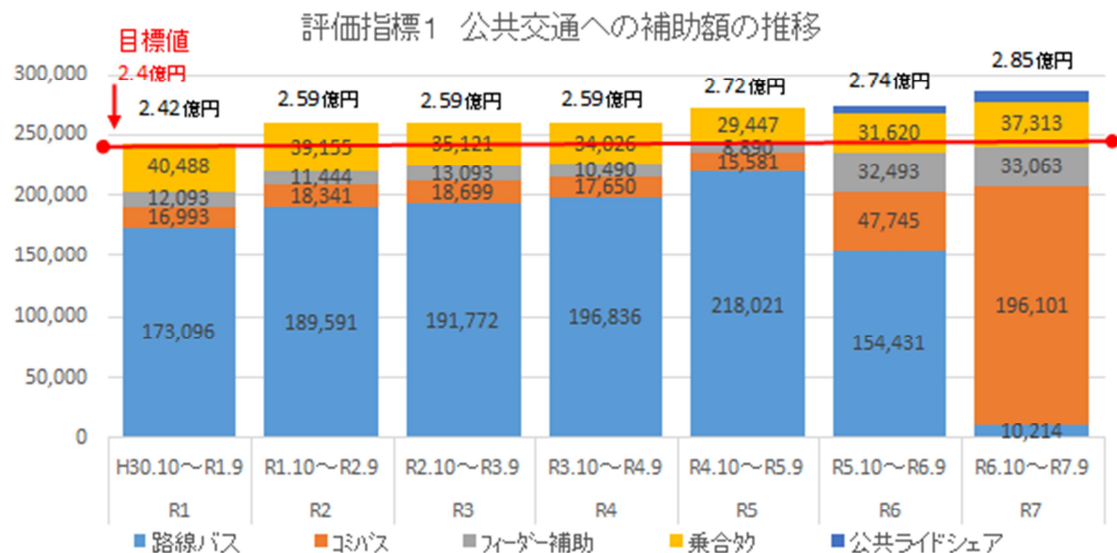
村上市地域公共交通計画では、1年ごとに事業の実施状況や評価指標値を整理し、計画の進捗確認と効果の検証・評価を行うこととしています。

2 評価期間 令和7年度（令和6年10月から令和7年9月）

評価指標1 公共交通への補助額

○目標値

計画策定時 ^注 (R元年度)	目標値 (R8年度)	実績 (R7年度)	達成状況
2.4億円	2.4億円以下	2.85億円	前年実績 2.74億円 前年比増（未達成）



○指標の算出方法（公共交通計画）

- ・市内公共交通への補助額（行政負担額）の合計

○目標値の考え方（公共交通計画）

- ・新たな公共交通の運行や、ニーズに応じた運行内容の見直しを実施しても、計画策定時の補助額以下となる運行を目指す

○分析

- ・燃料費、人件費の上昇などランニングコストの上昇がある
- ・路線バス等の運賃体系をゾーン制に変更したことにより、運賃収入が減少した
- ・村上一寒川のりあいタクシーの新設により、のりあいタクシーの利用が増加した

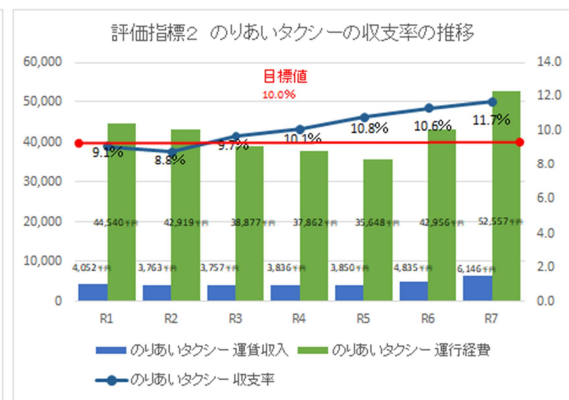
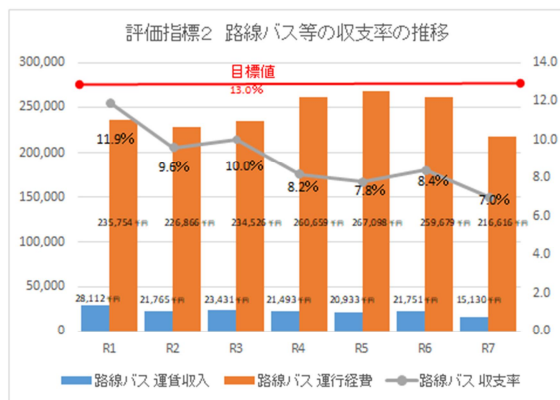
○今後の取組

- ・利用しやすい公共交通や地域の輸送量に見合った輸送手段を検討するなど、引き続き運行の効率化を進める

評価指標2 公共交通の収支率

○目標値

	計画策定時 ^注 (R元年度)	目標値 (R8年度)	実績 (R7年度)	達成状況
路線バス等	12%	13%以上	7.0%	前年実績 8.4% 前年比減（未達成）
のりあい タクシー	9%	10%以上	11.7%	前年実績 10.6% 前年比増（達成）



○指標の算出方法（公共交通計画）

- ・収支率 $\text{収入額} \div \text{支出額} \times 100$
- ・収入額 路線バス等：運賃収入、のりあいタクシー：運賃収入
- ・支出額 路線バス等：運行経費、のりあいタクシー等：運行経費

○目標値の考え方（公共交通計画）

- ・重複運行の改善等の運行効率化を図りながら、ニーズに合わせた運行内容の見直しによる利便性向上や利用促進に取り組み、利用者数を増加させることで収支率の向上を目指す

○分析

- ・路線バス等の運賃体系をゾーン制に変更したことにより、運賃収入が減少した

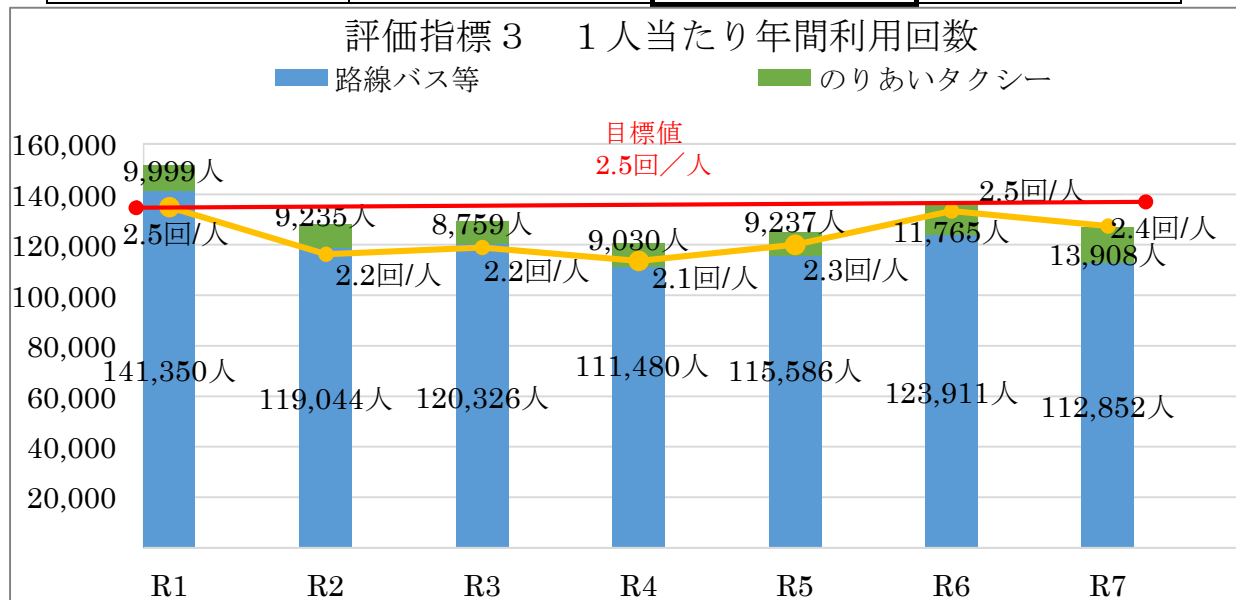
○今後の取組

- ・評価指標1で示した今後の取組に加え、免許返納者などの未利用層へ、わかりやすい情報発信に努め、利用者の増加による収支率の改善を図る

評価指標3 1人当たり年間利用回数

○目標値

計画策定時 ^注 (R元年度)	目標値 (R8年度)	実績 (R7年度)	達成状況
2.5回/人	3.0回/人以上	2.4回/人	前年実績2.5回 前年比減(未達成)



○指標の算出方法及び算定根拠（公共交通計画）

- ・ 1人当たりの年間利用回数 $\text{公共交通の利用者数} \div \text{人口}$

○目標値の考え方（公共交通計画）

- ・ 公共交通の利便性向上や利用促進により、市民1人当たりの利用回数の増加を目指す

○分析

- ・ のりあいタクシーの利用者は増加傾向にあるが、路線バスの日曜運行廃止を含む運行減便により、利用者が減少した

○今後の取組

- ・ 評価指標1で示した今後の取組に加え、免許返納者などの未利用層へ、わかりやすい情報発信に努め、利用者の増加を図る

注) 計画策定時(令和2年度(令和元年10月～令和2年9月))は、新型コロナウイルス感染症により外出自粛要請等の影響があり、各種公共交通機関の利用が著しく減少したため、基礎数値には令和元年度(平成30年10月～令和元年9月)の数値を採用している。

3 村上市地域公共交通計画評価等の結果報告について

上記の評価結果をもとに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 7 条の 2 の規定による地域公共交通計画の評価等結果を作成し、国土交通大臣に報告します。